



選挙に行って 誰もが安心して生活できる政治に変えよう

第204回通常国会で成立した「人権尊重・民主主義」「健康権・生存権」に背く主な法律

- 病床削減推進法(俗称)
- 高齢者医療費2倍化法(俗称)
- 改正国民投票法
- 土地利用規制法
- デジタル改革関連法



新型コロナウイルス禍で見えてきた政治の姿は、医療や介護の現場から見れば根拠に基づかない「思い付き」だったり、責任を無理やり民間に「押し付ける」ことばかり。そんな理不尽な状態の中でも、目の前の患者さん・利用者さんの「いのち」を救

一人ひとりが声をあげ行動を起こさなければいけません。いかに守れない！

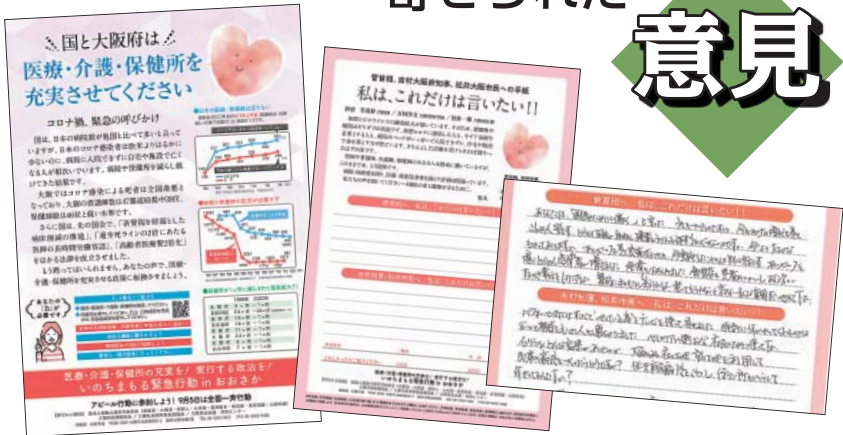
新型コロナウイルス禍で苦しんでいる国民のいのちとくらしを救うはずの国が、PCR検査体制の充実、誰も安心して接種出来るワクチン体制も不十分なまま、病床削減や高齢者医療費窓口負担2割化を成立させてしまいました。人の流れを止めることが必要な時に、国民大多数の意見を無視してオリビック・パラリンピックを強行し、感染拡大

新型コロナ禍で苦しんでいる国民のいのちとくらしを救うはずの国が、PCR検査体制の充実、誰も安心して接種出来るワクチン体制も不十分なまま、病床削減や高齢者医療費窓口負担2割化を成立させてしまいました。人の流れを止めることが必要な時に、国民大多数の意見を無視してオリビック・パラリンピックを強行し、感染拡大



患者さま・職員から寄せられた

意見



新型コロナ禍で見えてきた政治の姿は、医療や介護の現場から見れば根拠に基づかない「思い付き」だったり、責任を無理やり民間に「押し付ける」ことばかり。そんな理不尽な状態の中でも、目の前の患者さん・利用者さんの「いのち」を救

新型コロナ禍で見えてきた政治の姿は、医療や介護の現場から見れば根拠に基づかない「思い付き」だったり、責任を無理やり民間に「押し付ける」ことばかり。そんな理不尽な状態の中でも、目の前の患者さん・利用者さんの「いのち」を救

新型コロナ禍で見えてきた政治の姿は、医療や介護の現場から見れば根拠に基づかない「思い付き」だったり、責任を無理やり民間に「押し付ける」ことばかり。そんな理不尽な状態の中でも、目の前の患者さん・利用者さんの「いのち」を救

新型コロナ禍で見えてきた政治の姿は、医療や介護の現場から見れば根拠に基づかない「思い付き」だったり、責任を無理やり民間に「押し付ける」ことばかり。そんな理不尽な状態の中でも、目の前の患者さん・利用者さんの「いのち」を救



夜間に救急車4台同時受入れ

同仁会のコロナワクチン接種状況

ワクチンの供給に不安がりましたが、8月末までに延べ2万1,042回を接種できました。

開始からの接種回数

耳原総合病院	職員・職域・医療者合わせて 延べ 6,282回
診療所・老健 みみはら合計	延べ 1万4,760回

「研修医育成」に皆さまの「声」を

耳原総合病院は、厚生労働省が指定する臨床研修指定病院(基本的手技、知識などを身につけるため経験を積み場を提供する病院)として、初期研修医(医師国家試験に合格し、2年間の研修期間中の医師)の指導・教育に取り組んでいます。「皆さまの「声」」をお聞かせいただき、研修医の育成に活かしたいと考えています。右のQRコードからアンケートへのご協力をお願いします。(耳原総合病院研修委員会)



本来に必要な権利や要求は、日本国憲法の前文にあるように「当たり前に与えられているもの」ではなく、一人ひとりが声をあげ、行動を起こさなければ実現できません。この秋には総選挙が行われます。私たち同仁会

篠原 聡